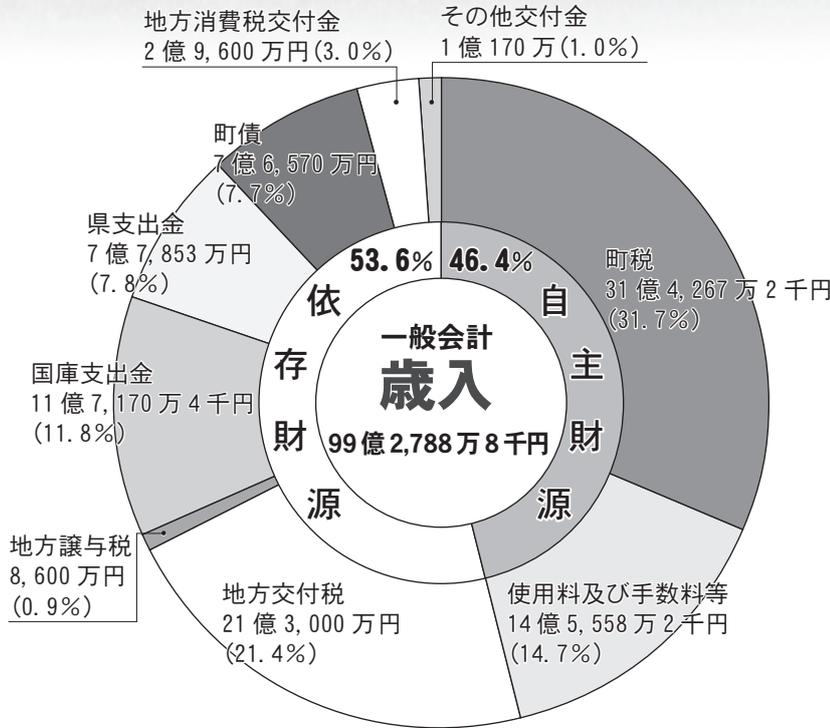


総額 188 億 1,363 万 1 千円



わたしたちの住みよいまちづくりの根幹となる平成 23 年度一般会計・特別会計および水道事業会計の予算が、3 月の町議会定例会で可決されました。

総予算額は、188 億 1,363 万 1 千円で、前年度に比べ 10 億 3,041 万 2 千円、5.79% の増加となっております。第 5 次益城町総合計画の将来像「水とみどり豊かで人安らぐ「夢・創造」のまち」くみんなの笑顔と愛情あふれるまちをめざしての現実に向け、住民福祉サービスの向上を最優先とした方針の下、より一層の行財政の改革に努め、歳入、歳出の両面にわたる徹底した見直しを行っています。

一般会計歳入

歳入では、国庫支出金、県支出金などが増加し、町債、諸収入、財産収入などが減少しています。

町税は全体の 31.7% を占め、31 億 4,267 万 2 千円、前年度比 4.89% 増を見込んでいます。法人住民税が増加している一方、個人住民税が減少しています。

地方交付税は 21 億 3,000 万円、前年度比 3.00% 増、国・県支出金が 19 億 5,023 万 4 千円、前年度比 3.5% 増、189 万 6 千円の増で、増加の主な要因は、子ども手当制度改正に伴うものです。

また町債は、7 億 6,570 万円、前年度比 8.36% 増の減、繰入金金が 6 億 9,000 万円、前年度比 1 億 2,100 万円の増で、増加の主な要因は辻団地外壁劣化改修工事などによるものです。

一般会計歳出

歳出では、民生費や衛生費などが増加し、総務費、農林水産業費、土木費などが減少しました。

民生費は、33 億 2,855 万 3 千円、前年度比 3.6% 増、41 億 6 万 4 千円の増で、全体の 33.5% を占めています。主な増加の要因は子ども手当制度改正に伴うものです。

土木費は、15 億 5,212 万 3 千円、前年度比 72 万 6 千円の減で、全体の 15.6% を占めています。主な要因は地域再生事業の事業量の減少

平成 23 年度予算総額 188 億 1,363 万 1 千円

会計名	予算額 (対前年増減率)
一般会計	99 億 2,788 万 8 千円 (4.74%)
国民健康保険	37 億 7,541 万円 (4.11%)
老人保健	※平成 22 年度で終了
後期高齢者医療	3 億 1,078 万 3 千円 (Δ 3.61%)
介護保険	23 億 3,020 万 5 千円 (13.86%)
土地取得	1,250 万 6 千円 (Δ 1.20%)
住宅新築資金等貸付	158 万 4 千円 (Δ 46.01%)
公共下水道	20 億 1,014 万 8 千円 (10.40%)
農業集落排水事業	8,399 万 7 千円 (Δ 1.98%)
水道事業会計	3 億 6,111 万円 (Δ 6.82%)

町税の内訳

